

文部科学省実績評価書 - 平成14年度実績 - (概要)

平成15年7月

文部科学省

「行政機関が行う政策の評価に関する法律」(平成14年4月施行)を受け策定された「文部科学省政策評価基本計画」(平成14年3月)及び「平成15年度文部科学省政策評価実施計画」(平成15年3月)に基づき、所掌する政策について平成14年度の実績評価を自ら実施した。

この実績評価は、政策の不断の見直しや改善に資する見地から、予め設定した施策目標や達成目標に対する実績を定期的・継続的に測定するとともに、目標期間が終了した時点で、目標期間全体における取組や最終的な実績等を総括し、目標の達成度合いについて評価を行うものである。

1. 評価の方法等

政策の体系を明らかにし、所掌する政策について評価するため、「文部科学省の使命と政策目標」として9つの政策目標、42の施策目標を設定し、施策目標に対して更に具体的な223の達成目標を設定。

予め設定した施策目標、達成目標ごとに平成14年度の達成度合いを測定するため、指標等のできる限り定量的なデータなどを用いて分析を行い、施策の効果について検証。

昨年の実績評価の経験等を踏まえ、達成年度を明確に設定するとともに、所管する行政分野をより具体的に、より網羅的に評価するため、達成目標の追加を行うなど評価の方法等を改善。特に、わかり易い形で施策目標、達成目標の達成度合いを明らかにするため、それぞれの目標ごとにその達成度合いを基本的には「想定した以上に達成」、「想定どおり達成」、「想定どお

りには達成できなかった」の3択から選び記述。

2. 評価結果の活用等

評価結果については、現在実施している施策や平成16年度予算概算要求等への適切な反映に努める。

評価書は、文部科学省政策評価会議（議長：事務次官）において決定した後、文部科学省のホームページ等を通じて公表。

政策評価の客観的かつ厳格な実施を確保するため、学識経験者等を構成員とする「政策評価に関する有識者会議」（座長：伊藤大一政策研究大学院大学教授）の委員から助言を頂戴。

文部科学省実績評価書 - 平成14年度実績 -

予め設定した目標について指標等を用い、平成14年度の達成度合いを測定
目標を達成するための今後の課題を抽出し、評価結果の平成15年度以降の政策への反映方針を提示

9つの政策目標、42の施策目標、223の達成目標を設定

「いつまでに何をどうしようとするのか」が明らかになるよう達成目標と達成年度を予め設定
指標の設定については、できる限り数量的なものとなるよう努力

指標

現状分析

指標等のできる限り定量的なデータなどを用いて施策の現状を分析
施策目標、達成目標ごとに平成14年度の達成度合いを測定
今後の課題を抽出

政策の見直し改善

評価結果を現在実施している施策や平成16年度予算概算要求等に適切に反映させるための方針を提示